

## 第1回大野城市総合計画審議会 議事録

**1 日時** 令和5年3月23日（木）10：30～12:10

**2 会場** 大野城市役所本館 災害対策本部室

### 3 出席者

【委員】 諸永政二委員、的野佑妃子委員、川邊孝信委員、  
中嶋真理子委員、段浦佳恋委員、松本民仁委員、  
久野啓子委員、鬼塚春光委員、合原佳登理委員、  
齊藤裕治委員、赤井田八千代委員、浦屋奈美子委員、  
田中元春委員、前田隆夫委員、長谷川保宏委員、安部一枝委員

（欠席） 坂井猛委員、花田稔之委員、吉塚和美委員、大森洋子委員

【事務局】 総合政策部 橋本成宣部長  
経営戦略課 甲斐めぐみ課長、田川勇氣係長、  
生田和也主任主事、伊藤優作主任主事  
危機管理部 山本一弘部長  
危機管理課 田代崇憲課長、石松洋基係長、砥綿祐志係長、  
粟津剛史主査

【職員プロジェクトチーム】 教育振興課 岩本貴志主任主事

**4 傍聴人** 0名

### 5 議事概要

（1）開会

◆事務局より開会宣言及び会議の流れの説明

（2）事務局あいさつ

◆事務局及び職員プロジェクトチームの職員紹介

### (3) オリエンテーション

#### ①第6次大野城市総合計画について

##### ◆事務局より資料1を用いて説明

- ・第6次大野城市総合計画は、目指すべき都市将来像「未来をひらく にぎわいとやすらぎのコミュニティ都市」とその実現に向けた4つの政策から構成される基本構想と、5年間の基本的な施策の方向性を示す基本計画、施策に基づく具体的な事業の内容を示す実施計画から構成されている。
- ・計画期間は、基本構想が、令和元年度から令和10年度までとなっており、そのうち前期基本計画が令和元年度から令和5年度まで、後期基本計画が令和6年度から令和10年度までとなっている。
- ・前期基本計画では、各課が行う49の施策を掲げ、その下に小施策として各担当が行う事業を記載している。
- ・施策の中には、めざそう値という数値目標を設定し、施策の達成状況の確認を行っている。
- ・本審議会では、令和6年度から令和10年度までの計画期間となる後期基本計画の内容について審議をお願いします。

【質疑等】なし

#### ②第6次大野城市総合計画後期基本計画策定方針について

##### ◆事務局より資料2及び資料3を用いて説明

- ・後期基本計画の策定にあたっての考え方、「市民と職員にわかりやすい、持続可能で多様性のある市政運営を可能とする計画」とし計画策定を進めていく。
- ・市民ニーズを把握した施策や目標値の設定、市役所の組織と施策の連動、第三者による事業の評価を行う公共サービスD O C K事業による行政評価との連動など、前期基本計画時から基本的には変更はないが、ライフステ

ージに応じた政策の整理とSDGsと関連付けた計画策定が前期基本計画からの大きな変更点となる。

- ・また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「国土強靱化地域計画」との一体化を行うこととしている。
- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少克服と地方創生を目的とした計画であり、計画内の施策は総合計画内の地方創生に資する取組みをまとめており、総合戦略と総合計画は整合性を図りながら一体的に施策の進捗管理を行うこととしている。
- ・「国土強靱化地域計画」は、大野城市地域防災計画や各分野別計画等における本市の地域強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進する指針性をもつ計画として位置づけられており、「国土強靱化地域計画」の施策については、総合計画や各分野別計画と連携しながら推進することとしている。
- ・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「国土強靱化地域計画」の両計画とも、総合計画と連携した施策の整理と進捗管理が必要であることから、後期基本計画の策定に合わせて一体化を行う。
- ・人口ビジョンの設定については、前期基本計画では人口推計を設定していたが、後期基本計画では、人口推計を基にした人口の将来展望や目標人口を定める人口ビジョンを設定し、そのために必要な施策を整理する。
- ・計画構成は、図に示したとおりとなっており、乳幼児期、児童・少年期、青・壮年期、高齢期のライフステージに応じた政策と施策の設定と、その政策の実行を支えるための自治体経営方針の設定を行う構成とする。

#### 【質疑等】

(赤井田委員)

- ・めざそう値について、値が小数点を用いられ中途半端な数値に見えるが、この数値はアンケートなどの結果から設定しているものなのか。また、設定は高めにしているのか。

(事務局)

- ・めざそう値については、これまでの総合計画の取組みの達成状況について、市民の皆様アンケートを行い、その結果を基に設定している。値については、特段高めに設定しているということはなく、これまでのアンケート結果から総合計画の振り返りや、次の総合計画につなげていくための現状分析や課題の検証を行い設定しているため、小数点までを反映している。

(赤井田委員)

- ・国土強靱化地域計画については、現在、国からおりてきた国土強靱化計画をもとに策定しているが、今回一体化を行うことにより、市民生活の中で上手く活用できるようになっていくという理解で良いか。

(事務局)

- ・その通りである。現在策定済みの国土強靱化地域計画は、総合計画と密接に関係しているため、後期基本計画の策定に合わせて一体化を目指している。
- ・国土強靱化地域計画は、まち全体を強くしなやかで災害に強いまちにするという目的で策定されており、災害の中でも上位の計画になるため、市の最上位計画である総合計画と一体化して調和を図り整合性をとっていくということである。

(赤井田委員)

- ・了解した。

### ③総合計画審議会のスケジュールについて

#### ◆事務局より資料4を用いて説明

- ・大まかなスケジュールとしては、10月末までに計画案を策定し、12月から1月にかけてパブリックコメントを実施、来月3月に後期基本計画の答申をしたいと考えている。

【質疑等】なし

④市民満足度アンケートについて

◆事務局より資料5を用いて説明

- ・市民満足度アンケートとは、現在の市の施策に対する市民の満足度と市民が考える施策の重要度と優先度を伺うアンケートである。
- ・前期基本計画策定時にも実施しており、今回も16歳以上の市民を対象に、基本構想に定める4つの政策分野ごとに1,500名、合計6,000名を抽出し、3月20日アンケートを発送している。
- ・アンケート項目は、市の取組みに対する満足度・重要度・優先度を5段階で尋ねるものと、回答者の基本情報、また、国土強靱化地域計画と一体化を行うにあたり、防災に関する質問を掲載したものとなっている。

【質疑等】なし

**(4) 辞令書交付**

- ◆井本市長より各委員に委員任命の辞令書を交付

**(5) 委員自己紹介**

- ◆各委員より自己紹介

**(6) 会長の選出**

- ◆委員からの推薦及び立候補が無かったため、事務局より大野城市区長会の諸永政二委員を推薦。全会一致で承認。

**(7) 第6次大野城市総合計画後期基本計画の諮問**

- ◆井本市長から諸永会長に諮問書を交付。

**(8) 市長あいさつ**

- ◆井本市長より委員へあいさつ

**(9) 閉会**

- ◆事務局より閉会宣言